

輸送動向について(7月分)

平成19年8月

1. 輸送概況

今月は、上旬の静岡地区を中心とした大雨、中旬の台風4号の上陸、更には16日に発生した新潟県中越沖地震など、自然災害による輸送障害が連続して発生し、月全体では高速貨552本、専貨25本が運休した。特に、新潟県中越沖地震は震度6強を記録し、信越線青海川駅構内での土砂流入をはじめ、各所で線路が寸断され、懸命な復旧工事を行っているものの、信越線柿崎駅～柏崎駅間については、依然不通となっている。このため、東海道線経由の迂回列車の運転をはじめとして、不通区間での利用運送事業者と連携したトラックによる代行輸送等を実施し、輸送力の確保に最大限努めているが、一部の貨物に影響を残している。

荷動きについては、輸送障害の影響を大きく受けた他、冷夏の影響もあり、低調に推移した。

コンテナ貨物では、民間流通米及び北海道地区からの生野菜の出荷が強勢であった農産品・青果物の他、自動車部品などが前年を上回ったものの、輸送障害の影響もあり、食料工業品をはじめとして、化学薬品、紙・パルプ、積合せ貨物などが前年を下回り、コンテナ貨物全体では前年比99.3%となった。なお、新潟県中越沖地震による現地自動車部品メーカーの生産停止に伴い、自動車部品専用列車が運休となった。

車扱貨物では、重油が大きく減送となった石油の他、キルン故障により出荷調整のあったセメントなど、すべての品目で前年を下回り、車扱貨物全体では前年比91.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,840	1,853	99.3%	7,536	7,445	101.2%
車 扱	932	1,017	91.7%	3,749	4,088	91.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	146	131	15	111.5%
	化学工業品	187	187	0	100.0%
	化学薬品	135	140	-5	96.4%
	食料工業品	286	294	-8	97.3%
	紙・パルプ	307	311	-4	98.7%
	他工業品	135	135	0	100.0%
	積合せ貨物	187	194	-7	96.4%
	自動車部品	61	57	4	107.0%
	家電・情報機器	34	34	0	100.0%
	エコ関連物資	31	37	-6	83.8%
	その他	331	333	-2	99.4%
	コンテナ計	1,840	1,853	-13	99.3%
車 扱	石油	581	620	-39	93.7%
	セメント	44	75	-31	58.2%
	石灰石	67	68	-1	99.6%
	車両	106	117	-11	90.8%
	その他	134	138	-4	97.5%
	車扱計	932	1,017	-85	91.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)